

## 目標達成計画

作成日：平成 23年 5月 24日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	8	日常生活支援事業や成年後見制度について学ぶ機会が少なく、十分に周知できていない。現在、制度を利用している入居者の方も居られるが、その必要性と重要性を理解しきれていないために援助時に支障をきたす可能性がある。	制度を学習する機会を設け、職員全員が一致した知識を持ち、様々な制度を活用している入居者の方々に対し円滑に援助にあたる事が出来るようにする。	法人内の研修会だけでなく、事業所内の勉強会や会議の時間を活用し制度に関する学習をしていく。 入居者個々の制度利用の必要性和重要性を十分理解し、適切な援助を行う。	6ヶ月
2	10	常にご家族ならびに入居者本人からの要望が聞けるよう心がけているが、職員に対し「忙しそうだから」「迷惑をかけているから」と気を遣わせてしまっているところがある。	入所時の説明だけでなく、普段から気兼ねなく意見や要望など言ってもらえるような関係を築く。	コミュニケーションを充実させて意見や要望を聞くことができる環境を整える。	6ヶ月
3	19	現在は通院や緊急時の対応など必要最小限の協力のみであり、中にはほとんど関わりを持っていないご家族もある。今後、全てのご家族にもっと本人と関わる機会を作ることにより、本人とご家族の絆を大切にしていく必要がある。	ご家族に事業所の理念を十分に理解していただく。ご家族に無理なく本人との関係を大切にもらえるような環境を作る。	日常の面会だけでなく、行事にも参加していただけるように日程の設定を工夫する。 「あしべ通信」だけでなく、面会や関わりが少ないご家族へ、事情に配慮しながら働きかけていく。	6ヶ月
4	4	入居者の方にも代表として運営推進会議に参加してもらっているが、具体的な取り組み内容まで決められず、サービスの向上に繋がれない場合がある。	運営推進会議の中で入居者や委員の方々から意見をいただきながら、具体的にサービス向上へ繋がられるようにする。	運営推進会議の進行にも注意する。 全職員がそのことを共有して実際のサービスへ反映させていく。また、実践した内容については評価と再検討をしていく。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。